

自立と共生！

たぐましい日本！

No. 216号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2004年5月26日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

○アメリカで大いに議論。泥沼のイラクにお手上げ。

ワシントンは、アブグレイブ監獄での拷問問題でわいています。イラク戦争が泥沼化してくる中で、ブッシュ政権を窮地に追いやっています。

18日に日本を発って、ワシントンに出て来ました。ICASという在米コリアンの政策研究所から北朝鮮を巡る北東アジアのシンポジウムにスピーカーとして招待されされました。この機会に、イラク問題や日本問題の専門家と意見を交換することが目的です。

シンポジウムには、大統領の安全保障特別補佐官マイケル グリーン上級部長や経済学でノーベル賞受賞者のロウレンス クライン ペンシルバニア大学名誉教授などの参加があって、様々な角度からの議論は、とても勉強になりました。日本では小泉総理の2回目の訪朝が日朝関係をどのように変化させてくるかが当面の話題ですが、このシンポジウムでは、朝鮮半島の統一へのプロセスとその後の北東アジア全体の安全保障や中国、アメリカ、日本との関係をどのように位置付けるかが活発に討論されました。面白かったのは、軍の立場からデイヴィッド マックスウェル 陸軍大佐の発言があって、朝鮮半島の民主的な統一とそれを実現していくために欠かせない米韓の強い軍事協力の必要性を説いたくんだりです。韓国人の研究者から、中国の役割を無視して、半島の統一は語れないし、必ずしもアメリカの思うような政権が朝鮮半島にできることが保障されるとは思わないとの指摘が出て来ました。韓国でも、若い世代を中心に、反米、民族主義の波があって、北朝鮮の国民は韓国人にとっては自分達の同朋なんだから、アメリカの言うなりにばかりはなっておれないという気概があります。

アメリカは善だ。その自由と民主主義、アメリカ的博愛というような価値観を我々が朝鮮半島にも実現する事が正しい。韓国の国民も当然そのことを望

○共和党を支える資金パーティーに迷い込む

延々半日に及んだシンポジウムがあけて、その夜には、共和党の保守主義を支えるための資金集めディナーパーティーにつれていかれました。私の分は、誰かが払ってくれたのでしょうか、1テーブル、7千ドル以上出して集ってきていることが後で分かりました。

この日は、共和党の古きよき大統領ドナルド レーガンの偉大な功績を記念するパーティー。レーガンの治世をたたえるスピーチが食事を進めながら10人ほど続きました。沢山の参加者が地元カリフォルニアからきていることも分かりました。彼を支えた州知事OB仲間や、彼と親しかったマスコミ記者、友人など様々なスピーカーが当時のエピソードを笑いを交えながら話します。レーガンのおおらかで機知にとんだ人となり、彼の描いた保守政治の真髓を紹介していきながら、クリントン治世をぼろくそに批判しながら笑い飛ばし、現在の保守回帰がいかに大事かを説きます。

ワシントンは、大統領選挙を控えて、毎晩こうした類のパーティーでにぎわっています。日本に帰ったら、民主党も、スマートでウイットの効いた資金集めを企画してみようかと、思ったりしています。感心しながら楽しんでできました。一方、私の参加費は、誰が払ってくれたのか最後まで分からずじまいでした。

○新人事で元気よく走り出した民主党

新しい民主党の人事が走り始めました。岡田党首のテレビ出演を通じた世論調査の結果は、「好感が持てていいぞ。」と出ています。藤井幹事長、

んでいるはずだ。そのために血を流してでも敵と戦う用意がある、とマックスウェル大佐は言いたいのです。しかし、このように、一方的に押し付けてくるようなアメリカに対して、まさに抵抗がある。そこがなんとなく理解できた気がします。

川端国対委員長、仙谷政調会長の布陣は、これまでと打って変わって平均年齢が上がり落ち着いた安心感の伝わる運営となっていくでしょう。

私もこれまでの政調会長代理は外れますが、その他は、これまで通り。さらに、党税制調査会の会長職が加わりました。しばらくは税金三昧です。